

えにわ 感染対策チームだより Vol.12

令和3年 8月 20日発行

新型コロナウイルスと ワクチン接種後の生活



ワクチンの効果

一般的に期待される効果は『感染予防』『発症予防』『重症化予防』の3つです。
このうち、『発症予防』と『重症化予防』の効果が最も期待できます。未だ結論には至っていませんが、『感染予防』についても効果が期待できるとの論文も発表されています。

ただし、いずれも効果が保証されている訳ではありません。ワクチン接種をしても免疫がつかない人がいたり、ウイルスの変異によりワクチンの効果が十分発揮されなかったりする可能性もあります。そのため、ワクチン接種に加えてマスク着用などの日常的な感染対策を続ける必要はあります。

変異株の流行とワクチン接種

流行当初の新型コロナウイルスは、若年層には無症状や風邪症状を呈し、高齢者や基礎疾患のある人に重症化し死に至らしめる感染症でした。しかし、繰り返す世界的な流行により、**若年層にも感染しやすく重症化しやすい変異株が国内でも拡大しています。**



未だ画期的な治療方法がない中で、**新型コロナウイルス感染症に感染することは全ての世代で危険です。**そのため、重症化を予防するためにワクチン接種を行うことが推奨されているのです。



ワクチン接種の証明になる「接種券（シールの台紙）」は、今後様々な場面で必要になると思うから、大切に保管してね！

ワクチン接種による副反応とその対処法

接種を受けた人の多くが副反応を経験します。症状の種類や程度には個人差がありますが、一般的には2回目の接種後に副反応が強く出る傾向にあります。

まれに起こる副反応として、接種直後からアレルギー症状が出る場合があります。15～30分程度は医療スタッフのいる病院内や接種会場で様子を見ましょう。

また、接種当日から3日間程度は、高い頻度で下記のような副反応が現れます。

①注射した部分の痛み・腫れ ②頭痛 ③発熱 ④疲労感（だるさ） ⑤関節や筋肉の痛み	 ・ワクチン接種後に抗体が作られる反応で『病気』ではありません。 ・まずは自宅にて安静に過ごし様子を見ます。 ・発熱や痛みがあって辛い場合は、市販の解熱鎮痛剤を服用しましょう。
---	---

これらの副反応は、通常、接種後3日間程度で自然に消失します。**4日目以降も持続する場合は、ワクチン接種とは関係なく病気を発症している可能性があるため受診しましょう。**

ワクチン接種後のための準備

全ての人に副反応が現れるわけではありませんが、ワクチン接種直後から3日間は、平常通りの生活が送れないことを想定し準備しておきましょう。

- ワクチン接種翌日は予定を入れず、急な休みにも備えましょう。
- 解熱鎮痛剤を用意したり、買い物などの家事は済ませたりしておきましょう。
- 同居家族が同日にワクチン接種を受けなくてもいいように調整しましょう。



文責：感染管理認定看護師 嶋貫祐子

えにわ感染対策チーム こびりんず
代 表 樋口 秋緒（恵み野訪問看護ステーション「はあと」）
問合せ先 連携センターりんく（恵庭市在宅医療・介護連携支援センター）
☎ 0123-36-0101